

心臓カテーテル検査・治療を受ける患者への集団オリエンテーションの実施を試みて

【目的】近年、低侵襲のIVR(特に心臓カテーテル検査・治療、以下「心カテ」とする)は増加傾向である。初めて心カテを受ける患者も、2回目以降でも、心カテを受ける際に不安を自覚することは少なくない。私たちインターベンションエキスパートナース (INE) は、心カテ前に患者の不安を軽減し、安心して心カテを受けられるような関わりが求められる。そのためには心カテ前オリエンテーションが有効だと考えた。当院での従来の心カテ前オリエンテーションは個人指導であり、また統一した資料もないため指導担当看護師間で指導内容および時間に差が出ていた。そこで、個人差を減らし、指導患者数が多い状況でも確実に指導実施できるように、オリエンテーションシステムの改善を試みたのでここに報告する。【方法】指導用資料スライド(以下「スライド」とする)を作成し、心カテ前日に集団でオリエンテーションを実施した。集団オリエンテーション後、評価を患者アンケートで行った。【結果】スライドを使用することで、看護師間の指導内容の均一化は達成した。副次的に指導時間の短縮を認めた。患者アンケートからは、不安の軽減に有効であったと確認できた。【結論】心カテに関する基礎知識を集団指導で提供することは有効であった。また、患者の背景には多様性があるため、個別指導が有効な症例もあることが半明した。統一資料の作成と、よくある質問を踏まえた内容改良をしていくことで、担当看護師を増員することなく、有効なオリエンテーションが施行可能となった。